

No.13 2025年 2月23日

受難節前第二主日礼拝
 説教『種蒔きの譬えが意味する生』
 山根眞三師
 司会 高橋圭子さん
 奏楽 栗原斗志子さん
 招詞 ヘブル人への手紙4章12～13節
 主の祈 (564)
 讃詠 5 4 6
 交読詩編 詩 1 5 編
 祈禱 美歌 21 - 1 9 5
 使徒信条 (566)
 聖書 ルカ福音書 8章 4～15節
 説教 (口語訳98頁、新共同訳118頁)

『種蒔きの譬えが意味する生』
 祈禱 美歌 2 3 4 A
 献金 謝告 栄 5 4 4
 祝後 奏

次週の礼拝(受難節前第一主日礼拝)
 説教『自分の十字架を負って従え』
 マルコ福音書8章31節～38節
 招詞 I コリント13章 4～7節 / 交読詩篇 6 編
 讃美歌 546、21-288、324、539

礼拝当番
 今週 23日 司会 高橋さん 献金 根角さん
 次週 2日 司会 根角さん 献金 高橋さん
 会堂清掃奉仕 2月28日(金)
 午後4時～ めぐみ幼稚園保育者

本日の集会

★教会学校 午前9時45分
 ★コーヒータイト 礼拝後～
 それぞれの思いを語り合しましょう。

今週の集会/スケジュール

★聖書を読む会 2月25日(火)10:30～
 黙示録を通して聖書を読みましょう
 6 庚午小学校学校協力者会議 2月25日(水)18:00
 ～19:00 牧師が出席します。
 8 広島拘置所教誨奉仕 2月26日(水)13:30～16:00
 施設にある方の信仰生活を覚えてお祈り下さい。
 先週体調不良のため休んだ振替です。
 めぐみ幼稚園わくわく実験室 2月27日(木)10:00～11:30
 子ども達が出会う実験を楽しみにしましょう。

次週以降のスケジュール等

★3月定例教会役員会 3月2日(日)礼拝後
 教務・教勢報告、会計報告、分区全体会について
 活動総括、教会総会準備、新年度の歩みについて
 役員の仕事と健康を覚えてお祈り下さい。
 ★灰の水曜日 3月5日(水)この日から受難
 節が始まります。キリストの受難日は4月18日(金)
 今年のイースターは4月20日です。
 ★信徒会主催3.11記念チャリティコンサート 3月
 8日(土)14:00～ 会場:広島牛田教会
 ヒロシマハンドベルリンガーズも参加します。
 一人でも多くの方のご参加を願います。

学校法人広島西部教会学園理事会・評議員会
 3月9日(日)13:30～15:30
 中間決算および新年度予算について協議、
 休園について協議、審議します。
 幼稚園について覚えてお祈り下さい。

★広島西分区全体会 3月29日(土)10:00～

| | | | |
|-------|---|----|----|
| 先週の集会 | 男 | 女 | 計 |
| 教会学校 | 0 | 0 | 0 |
| 主日礼拝 | 2 | 10 | 12 |

◇今週の説教要旨(受難節前第二主日礼拝)
 『種蒔きの譬えが意味する生』ルカ福音書8章4～15
 ルカ福音書8章の描写は特に注意したい。この時
 代のイエスの活動を描写するのに女性達が生かさ
 れ支えられ、それだけではなく一応の活動の場が与
 えられていたことが語られているからだ。しかも具
 体的な名前が挙げられている。イエスを中心とし
 た集団が本当に生き生きとしている。そんな集団
 に触発されて、おそらく自己実現が殆どされないよ
 うな人が集まってきた。彼らは何を期待したのだろ
 うか。神様の前にある自分すら見いだせない人々
 だった? イエスはそのような人々に語ったのは種
 蒔きの譬えだった。何故そんな譬えで話をしたか
 を弟子達に語った。人々に神の国についての奥義
 を悟られない為だと。人々は何のように聞いたの
 だろうか。種はこんなに様々な所に蒔かれるもの
 なのだろうか。それが率直な私の疑問なのだ。最
 新の注意を払ったとしてもこれほどまでに条件の
 違った場、位置に蒔かれるものなのだろうか。ト
 ランプ大統領の発言、行動にとっても深い疑念
 を抱いてしまうのだが。ゼレンスキー大統領のこ
 とを独裁者とまで語ってしまう。最も独裁者の陥
 りやすい道だ。心から彼の信仰を覚えて祈りたい。
 イエスが弟子達に教えた譬えの意味は種とは神の
 言。そうであるなら、どうしてこうも神の言は条
 件の違った人々に語られるのだろうか。しかも簡
 単に悪条件の重なった人に蒔かれるのだろうか。
 イエスの教えを聞けば、神の言はどのような状
 況にある人であったとしても注がれ、蒔かれてい
 るのだということだろう。これは神の愛の普遍性
 を示すのと同じだろう。私たちは神の愛に気づい
 てお祈りしながら、それをぞんざいに、また不注
 意に受け取ってしまっているのだろうか。これら
 よりも私は水上勉さんがその作品京の川で描かれ
 ている岩抱えの松に感動するのだ。木にとって栄
 養でもない岩を抱えたまつの生命力。岩を除去し
 たところ松の木は枯れた。